基礎生物学実験の目的

生物現象は、極度に複雑な物質系の中で行われる無数の反応の相互関係の上に成立している。生物現象を理解するには、まず生きた生物体や生物個体群の示す反応を正確に記録し、その因果関係をぶんせきして、究極には物理学や化学の法則が適用できる体系に関係づけなければならない。このような生物学的解析と総合の過程を、議論からだけではなく、実験を通して学習することは、理工生命学一般の研究能力に関する幅の広さと弾力性を養成するもので、現在の本学で課する基礎生物学実験の第一の目的もここにある。

実験種目の構成

前述の主旨に従って、実験種目の選択配列には、次のような点が考慮されている。

1. 生物学としては基本に属する分類、形態、構造上の比較と行動学、生態学に重点をむけ、現代生命観の潮流に触れるように努める。
2. 生物体の構造、生理学、生態学反応を観察し、生物学的意義に絶えず注意を向ける。
3. 基礎生物学 A、B の講義内容と密接な関係を保つが、項目や順序は必ずしも一致せず、この実験だけで一応独立の内容をもったものにする。